

芳賀地区広域 ごみ処理施設整備にあたって

安全で安心できる施設整備をめざして



(施設外観イメージ)

豊かな自然、周辺環境に調和した 広域ごみ処理施設を整備します

広域ごみ処理施設は、地域のみなさまのご理解とご協力のもと、平成22年11月29日にごみ処理施設の「設計・建設工事」と「運営・維持管理業務」を実施する事業者の公募を行いました。

2グループからの応募があり、提案審査委員会の提案内容の審査を経て、最優秀提案者を落札者に決定しました。

また、平成23年6月29日の芳賀地区広域行政事務組合議会において、事業契約（建設工事請負契約、運営・維持管理業務委託契約など）と建設用地の取得議案が議決され、平成26年4月の稼働に向け、施設の建設工事がスタートしました。

TOPICS

- 全体計画について
- ・全体計画
 - ・エコライフの拠点に
 - ・施設の災害対策
- 取組経過と事業概要について

芳賀地区広域行政事務組合

真岡市・益子町・茂木町・市貝町・芳賀町





建物は、風のそよぎを感じさせるやさらかな
曲線を用い、落ち着いた色彩と形状です

全体計画…芳賀地区の循環型社会のシンボルに!

広域ごみ処理施設は、芳賀地区1市4町の家等から出されるごみを適正に処理するとともに、資源循環を推進するための施設として、熱回収施設とリサイクル施設を整備します。

熱回収施設では、ごみを焼却し、その熱を利用して蒸気タービンを回し発電をします。また、焼却灰は、高温の溶融炉で溶かし、建設資材等として有効利用できるスラグを作ります。

リサイクル施設では、燃えないごみ（不燃ごみや粗大ごみ）を破碎処理し、鉄類などの資源を回収します。また、缶類、びん類、ペットボトルなどの資源もリサイクルします。

■建物・配置計画

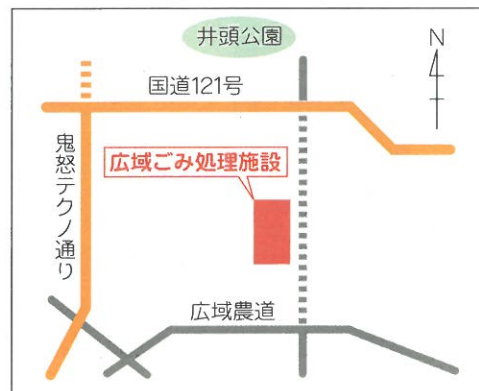
施設は、熱回収施設、リサイクル施設・管理棟を南北に配置し、管理棟には、環境、資源、エネルギーなどに関する展示や体験工房などを設置します。また、北側の多目的広場や自然とのふれあいゾーンは、自由に散策できるスペースです。

ポイント1 建設事業者の選定方法は

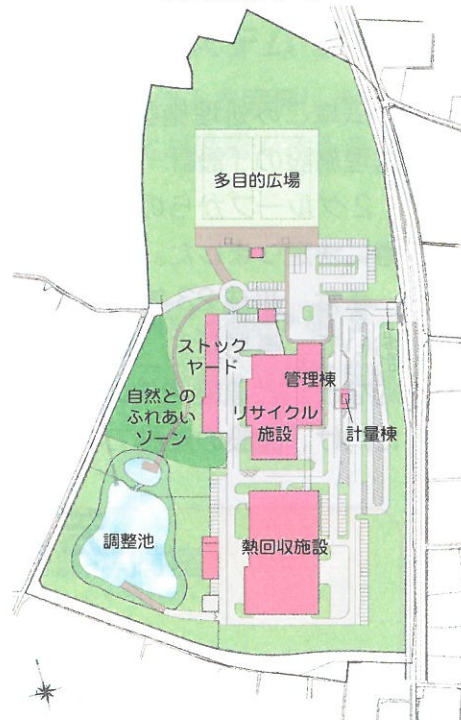
建設事業者の選定方法は、透明性、公正性等が確保され、技術と価格を評価する「総合評価方式一般競争入札」で行いました。専門家からなる提案審査委員会において、提案内容の審査を行い、入札価格と合わせて評価し、最優秀提案者を選定しました。

なお、入札に参加したグループは、日立造船グループ（代表企業 日立造船株式会社）と、神鋼グループ（代表企業 株式会社神鋼環境ソリューション）の2グループです。

【概略位置図】



【施設配置図】



(設計により一部変更となることがあります)

広域ごみ処理施設整備・運営事業の取組経過と事業概要

取組経過	18年度	・建設候補地の選定	・地域説明会の開催	
	19年度	・地域説明会の開催	・ダイオキシン類に関する研修会 ・先進地視察の実施	
	20年度	・測量調査の実施	・生活環境影響調査の調査開始 ・先進地視察の実施	
	21年度	・堀内地区への建設決定	・農振農用地の除外申請 ・生活環境影響調査結果の縦覧	
	22年度	・農振農用地の除外承認	・都市計画の決定 ・事業者選定のための入札公告	
	23年度	・提案内容の審査、最優秀提案者の選定 ・落札者の決定 ・組合議会において、事業契約、用地取得を議決		
事業の概要	熱回収施設	・処理能力 ・処理方式	143トン/日 (71.5トン×2炉) 流動床式ガス化溶融炉方式	落札者は、最優秀提案者の神鋼グループ（代表企業 株式会社神鋼環境ソリューション）です。
	リサイクル施設	・処理能力	19トン/5h	
	建設地・面積	・建設地 ・敷地面積	真岡市堀内地内 約6.1ha	
	設計・建設工事	・建設事業者 ・工事期間 ・建設工事費	神鋼・戸田JV特定建設工事共同企業体 平成26年3月31日までの3年間 78億7,500万円（設計を含む）	
	運営・維持管理業務	・運営事業者 ・運営期間 ・業務委託料	株式会社 芳賀環境サービス 平成26年4月～平成46年3月までの20年間 112億3,500万円（20年間）	

CO₂排出量の低減をめざして

広域ごみ処理施設は、施設全体でのCO₂排出量の低減に向け、「化石燃料の削減」「効率的な運転で発電量の最大化」「施設内での消費電力の削減」「太陽光発電など自然エネルギーの利用」などに取り組めます。

ポイント2 天然ガスを利用!

広域ごみ処理施設では、天然ガス（LNG）の利用によるCO₂排出量の低減に取り組めます。天然ガスは、空気より軽く爆発等の危険もなく安全です。また、運転維持管理面では、価格、供給量の安定性も考慮しました。

資源循環型社会に寄与する施設をめざして

熱回収施設では、発電効率を高め、施設運転用の電気を作り出します。（焼却炉2炉運転時には、売電することもできます。）また、焼却灰はスラグ化し、建設資材等として有効利用するため、JIS認証を取得します。スラグ化により、最終処分量の低減も図ります。

リサイクル施設では、選別機能に優れた機器を設置し、燃えないごみ等からの鉄類の回収量、回収率を高め、リサイクルを推進します。

機器の自動化や機能管理による安全な運転管理

中央制御室集中監視システムや自動燃焼制御システム等により、効率的で安全な運転管理を実現します。また、点検・検査・補修計画に基づく計画的な機器の機能管理を実施します。

燃焼状況や排出ガスの状況を常時監視し、自主規制値を遵守し、施設の運転管理を行います。

エコライフの拠点に

広域ごみ処理施設は、環境学習の3つのステップ「親しむ」「知る」「行動する」を体験できる施設です。

自然とのふれあいゾーンでは、既存樹林での樹木、草花、昆虫の観察などができます。

体験工房では、「環境にやさしい生活プログラム」などを実践できます。例えば、エコクッキング、衣類リフォーム、エコライフに関する公開講座など、様々な利用が図れます。また、修理をすれば、まだまだ利用できる自転車や家具などを、修理・リサイクルする「修繕室」も設置します。

【管理棟1階フロアのイメージ図】



(設計により一部変更となることがあります)

ポイント3

体験工房の活用アイデア!

管理棟内に設置する「体験工房」は、様々な利用方法が考えられます。今後、施設稼働に向けて、いろいろなアイデアも募集したいと考えています。

施設の災害対策

■停電、落雷、地震などの緊急時にも、安全に自動停止できるシステムです。

停電、落雷、地震などの緊急時には、焼却炉などを安全に自動停止させるシステムを完備します。なお、自動停止後も、各機器の冷却設備や排出ガスを処理する機器等は、安全が確認できるまで一定時間運転するシステムを備えています。

ガス漏れ、火災などへの対策は、検知器を設置し早期に対応します。

■事故防止体制を整え、安全チェックや点検等で事故防止に取り組みます。

緊急事態発生に備え「緊急対応マニュアル」を整備し、定期的な教育訓練で迅速な対応を確保します。また、安全パトロールの実施により、事故防止に取り組みます。

芳賀地区広域行政事務組合 ごみ処理施設建設準備室

お問い合わせ先

〒321-4415 栃木県真岡市下籠谷4412番地
TEL.0285-81-1244 FAX.0285-81-1266
ホームページ <http://hagakouiki.jp/gomihome/>